

# 伊奈かつぺいさん 普段着の息遣い

新聞連載を書籍化

青森市のタレント伊奈かつぺいさんの新聞連載などをまとめた「言葉のおもちゃ箱 伊奈かつぺい綴り方教室」(本の泉社)が刊行になった。写真。「行くな来るな動くなジツとしている。そんな毎日だからこそその閉じこもりから生まれた笑える思いつきの数々」と、コロナ禍の2年間を自在に書きつづった。古い、デジタル社会、活字、オ

リンピック…と話題も縦横無尽だ。

「思いつきを思いつく楽しさ。その思いつきを忘れたくない、自分が読み返してまた笑いたい」と、20代で日記を書き始めたかつぺいさん。半世紀たった今も続けているという。そんな普段着の息遣いが、同書にはあふれている。「何ひとつ学問的な根拠もなければ、文学文芸に寄り添う気などハナからない。『おもちゃ箱』そのものの言葉遊びであります」。248ページ、1500円。(加藤桃子)

## 言葉のおもちゃ箱

伊奈かつぺい綴り方教室



伊奈かつぺい